

<p><b>【技術の名称】</b>                  ウルトラパイルS工法                  一回転貫入鋼管杭工法（改定）</p>	<p>性能証明番号：GBRC 性能証明 第07-09号改                  性能証明発効日：2011年2月17日</p> <p><b>【取得者】</b>                  株式会社建商 中村基礎工業株式会社                  株式会社ジャパン</p>
---	---

**【技術の概要】**

本工法は、切り欠きを施した鋼管に2枚の半円形鋼板の拡翼と掘削刃を溶接接合した特殊部と称する部品を鋼管に溶接接合したものを、回転させることによって地盤中に貫入させ、これを杭として利用する技術である。本技術は、2007年5月8日に(財)日本建築総合試験所 建築技術性能証明 第07-09号として性能証明されたものであり、今回の改定では、使用する杭仕様の追加、ならびに、杭打設後に杭先端部を打撃する施工管理試験（スライドウエイト試験）の改定を行っている。

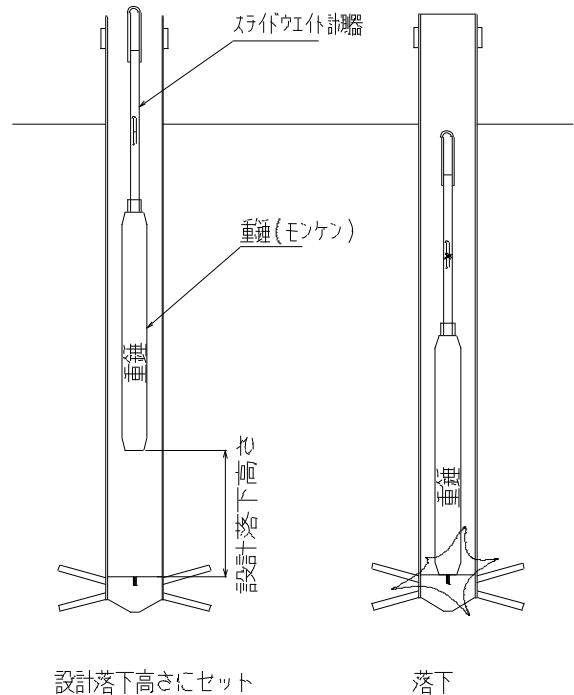
**【技術開発の趣旨】**

先端に拡大翼を有する回転貫入杭は、先端翼が地盤を切削しながら貫入するため、地盤や施工方法によっては、先端地盤を過度に乱して緩めることで支持力が低下する恐れがある。本技術では、打設した杭が所定の支持能力を有していることを確認するとともに、先端地盤の緩みを低減することを意図して、独自に開発した杭打設後に杭先端部を打撃するスライドウエイトS試験を導入している。また、独自形状の先端翼を設けることで、施工性の向上を図っている。

**【性能証明の内容】**

本技術についての性能証明の内容は、鉛直支持力についてのみを対象としており、以下の通りである。

申込者が提案する「ウルトラパイルS工法 製造・施工基準」に従って製造、施工された鋼管杭の許容支持力を定める際に必要な地盤の極限鉛直支持力は、設計基準に定めるスウェーデン式サウンディング試験の結果に基づく支持力算定式で適切に評価できると判断される。



施工管理試験  
 (スライドウエイトS試験)

**【本技術の問合せ先】**

株式会社建商 担当者：久保 誠  
 〒542-0082 大阪市中央区島之内 2-10-27-8  
 中村基礎工業株式会社 担当者：斉藤 信行  
 〒822-1212 福岡県田川郡福智町弁城 4230-2  
 株式会社ジャパン 担当者：稲場 誠  
 〒455-0855 愛知県名古屋市中港区藤前 4丁目 913 番地

E-mail：ultrapile@tune.ocn.ne.jp  
 TEL：06-6211-0298 FAX：06-6211-0299  
 E-mail：nakamurakiso-saitoh@yahoo.co.jp  
 TEL：0947-22-0015 FAX：0947-22-6177  
 E-mail：inaba@soience.co.jp  
 TEL：052-304-1191 FAX：052-304-1195